

荒尾市上下水道事業運営審議会委員委嘱状及び辞令交付式
第1回荒尾市上下水道事業運営審議会 議事録要約版

日時：平成29年9月1日（金）13時30分～15時15分

場所：ありあけ浄水場 会議室

出席委員（敬称略）：

近畿大学 経営学部 教授	浦上 拓也
荒尾商工会議所	江崎 光恵
女性ネットワーク荒尾	深浦 淳美
荒尾市食生活改善推進員協議会	田頭 スエカ
荒尾市地区協議会会長会	田中 一大
荒尾市金融団	吉村 栄治
新日本有限責任監査法人	西 秀雄
荒尾市総務部長	石川 陽一

欠席委員（敬称略）：

有明工業高等専門学校 創造工学科 准教授 加藤 浩司

配布資料：資料－1 荒尾市上下水道事業運営審議会委員名簿
資料－2 荒尾市上下水道事業運営審議会条例
資料－3 荒尾市上下水道事業運営審議会の進め方
資料－4 荒尾市水道事業の概要

○委嘱状交付及び企業管理者挨拶

（事務局）これより、荒尾市上下水道事業運営審議会委員委嘱状、辞令交付式を行います。委員を代表して浦上拓也委員に委嘱状の交付を行います。

<浦上委員に委嘱状を交付>

（事務局）企業局を代表し、企業管理者の田上より挨拶させていただきます。

（企業管理者）このたびはお忙しい中、各位におかれましては委員の就任を快くお引き受け頂き、誠にありがとうございます。本審議会において、ご審議頂きたいことは、現行の荒尾市水道ビジョンをフォローアップして頂き、新たな水道ビジョンを策定頂くことです。委員の皆様よりそれぞれのご立場、観点から忌憚のないご意見を頂ければ、荒尾らしい有用な水道ビジョンを描くことができると思っておりますので、よろしくお願いします。

○開会

1. 委員紹介、会長及び副会長の選出

(事務局) ここから第1回荒尾市上下水道事業運営審議会を開会します。まず、審議会委員の皆様を紹介させていただきます。

<委員の紹介>

(事務局) 続きまして企業管理者及び事務局の紹介に移ります。

<企業管理者及び事務局の紹介>

(事務局) 次に会長及び副会長の選出に移ります。荒尾市上下水道事業運営審議会条例に基づき、審議会は委員の互選により、会長、副会長を置くとなっております。立候補もしくは推薦がございませんでしょうか。

(委員) 会長は浦上委員、副会長は加藤委員を推薦します。

(事務局) この推薦に異議ございませんでしょうか。

(委員) 異議なし。

(事務局) それでは会長を浦上委員に、副会長を加藤委員をお願いいたします。
代表しまして浦上会長よりご挨拶頂きます。

(会長) ただいま会長に推薦頂きました近畿大学の浦上と申します。私自身、熊本県の出身であり、今回、熊本に恩を返せる機会を頂くこととなります。全国の事業者が将来にわたって、水道をどのように維持していくかという非常に難しい問題に直面していますが、荒尾市は全国に先駆けて新たな取り組みを今まきに行っています。その意味でも本審議会は全国的に注目される、全国の事業者にも夢と希望を与えられる審議会になるのではないかと考えています。委員の皆様のご立場からの積極的なご意見を頂き、今回策定する水道ビジョンをよりよいものにしていきたいと思っております。ご協力をお願いいたします。

2. 【諮問】荒尾市水道ビジョン(案)について

(事務局) 荒尾市水道ビジョン(案)について委員の皆様へ諮問致します。委員を代表しまして、浦上会長へ諮問書を交付します。

<浦上会長に諮問書を交付>

(事務局) 荒尾市上下水道事業運営審議会条例 第 5 条第 2 項に基づき、ここからは浦上会長を議長とし進行して頂きます。

3. 議題

(1) 荒尾市上下水道事業運営審議会の進め方

(議長) それでは議題 (1) 本運営審議会の進め方について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) <資料-3 審議会の進め方による説明>

(議長) ただいまの審議の進め方について、委員の皆様より質問などがあればお願いします。

<質問等なし>

(2) 荒尾市水道事業の概要について

(議長) それでは議題 (2) 荒尾市水道事業の概要について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) <資料-4 荒尾市水道事業の概要について説明>

(議長) ただいまの荒尾市水道事業の概要について、共通理解を深めるため、補足します。荒尾市は全国で 1400 程度ある水道事業体の中でも中規模な事業体です。そのほとんどの事業体で問題になるのが人口減少です。日本の人口は今後 40 年で 3 分の 2 になると推計されており、現在のインフラを 3 分の 2 の人口で支えることとなります。この場合、40 年後に負担すべき水道料金は 1.5 倍以上となります。将来、子供たちが今の私たちと同じような水道の恩恵を受けられるように、今のうちに 40 年後に対して責任を持ち、考えていく必要があります。

現在、日本の水道料金は非常に安く設定してあると思いますが、単に安さだけで比較しないようにする必要があります。水道料金を最も安くする方法は水道を古いまま何もせず使い続けることです。しかし、これではいずれ水道管は破裂していきます。このときに一気に水道管を更新すると、一気に料金が上がります。これを子供たちが負担することとなります。そうならないように今まさに考えることが今回の水道ビジョンづくりになります。

多くの事業体が水道に関心を持たず、目の前の問題から目を背け、ほったらかしにしています。このような事業者は近い将来、危機的な状況となると確信します。しかし、荒尾市はそうではありません。そのようにならないように全国に先駆けて新たな取り組みを始めています。我々は、その方向性に対してそれぞれの意見を出し、その取り組みに間違いがないか考えていきましょう。今回の水道ビジョンは中身のある、手づくりの、市民のための魂のこもったビジョンにしたいと思います。

(議長) 委員の皆様より質問などあればお願いします。

(委員) 今後の老朽化対策に伴い、市民への負担の増加が懸念されますが、少しでも負担が軽減される

ような先進的な方法はありますか。

(事務局) 現在行っている民間委託の中にアセットマネジメント業務というものがあります。水道施設を総点検し、優先順位をつけて効率的に更新していく計画を立てる業務をアセットマネジメント業務といいます。これにより、少しでも市民の皆様の負担が軽減されるような計画を作成していきます。

(議長) 詳細なアセットマネジメントは、給水人口5万人程度の水道事業者がなかなかできるものではありません。なぜ荒尾市ができるかという民間とパートナーを組み、取り組んでいるからです。大きな事業者と同じようなことが荒尾市ではできています。

(委員) 幾つか質問と意見があります。1点目は、漏水対策をまず行うことが必要ではないでしょうか。2点目は、もっと水を使ったほうがいいのでしょうか。3点目は、水道水がおいしくなったことをもっとアピールされてはいかがでしょうか。水道水のボトル水をスーパー等で売り出されてもいいと思います。4点目は、井戸の塩水化について、個人のお宅の井戸の状況を把握されていますでしょうか。5点目は、水道料金を支払っていない方はいらっしゃいますでしょうか。

(事務局) 1点目は、漏水については漏水調査業務を実施して、できるだけ早く漏水をみつけ、対策する努力を続けております。2点目は、荒尾市は地下水が主力の水源であり、異常気象とならない限り、水が足りなくなることはありません。できることなら水道をたくさん使って頂ければと考えております。3点目は、水道水をもっと飲んでいただけるような広報をしております。4点目は、事業所で使用している大きな井戸は荒尾市にて把握しています。個人の井戸までは明確に把握していませんが、比較的浅い井戸となっているため、海水の影響を受けにくい状況になっていると思います。5点目は、荒尾市の水道料金収納率は99.93%以上となっており、他市と比較しても水道料金を支払っていない方は非常に少ない状況となっております。

(議長) 3点目のご質問について、水道水の水質検査項目は51項目なのに対し、ペットボトルの水の検査項目は14項目となっております。このことから水道水を飲むことは安全です。4点目のご質問については、水道事業者が管理する水道は水道管を通して圧力給水するものを言います。このため、個人の井戸は企業局の管理から外れるものとなっております。

(委員) もっと水道を使ってほしいとのことですが、主婦の立場として、また年金で生活をする者にとって節水は重要なことです。

(事務局) そのような家庭のご負担と、節水の重要性は十分理解しております。今後もそのような声に耳を傾けながら事業運営にあたりたいと考えております。

(議長) 荒尾市では水道料金の福祉減免は行っているのでしょうか。

(事務局) 生活困窮者の方への支援について国からの通知等は届きますが、今のところ減免等はおこなっておりません。

(委員) 熊本市の自宅で、熊本地震後に 2~3 日ほど停止していた水道を出したところ、赤水が出ました。今後、地域によっては過疎が進むと予測されますが、このような水のよどみについてどのようにチェックされているのでしょうか。

(事務局) 水道水の安全性については、毎日、管末で水質検査を行い、確認をしています。また、家庭内の給水管の老朽化により、しばらく水を出さないでいると赤水が出てしまうことがあり、お問い合わせを頂きますが、ご家庭の給水管の汚れによる一時的なものをご説明することでご理解を頂いています。

(議長) 他になければ本日の議事は終わりたいと思います。ありがとうございました。

4. 事務連絡(次回開催日の調整)

(事務局) 次回の開催を 11 月 1 日(水) 14 時からとしたいと思いますがいかがでしょうか。会場は荒尾市役所を予定しております。

(委員) 異議なし。

以上